

CONTENTS

ヒロシマ、 平和を考える3日間。……………	1
生協と、替えましょう。……………	5
Topix……………	7
事務局だより……………	10

8.2019/vol.73



市民平和行進で
「子どものメッセージ」を発表する
寺田 帆波さん

平和とより良き生活のために

広島県生活協同組合連合会

ヒロシマ 平和を考える 3日間。

今年も8月6日を迎えました。

元号が令和に変わっても

変わらない想い、

変えてはいけない想いがあります。

「あの日」を忘れないために、

次の世代へ継承していくために。

広島県生協連では、さまざまな

取り組みを行っています。

平和について考え、

想いを伝えた3日間をご紹介します。



8月4日(日) 市民平和行進

8月4日(日)午前10時、午前中にも関わらず気温が30度近くまで上がった猛暑の中、総勢300人を数える人々が市民平和行進のために集まりました。

はじめに、主催者である市民平和行進広島県連絡会を代表して広島県被団協理事長 佐久間邦彦氏がヒロシマの使命について挨拶。一同、平和行進の意義を改めて認識しました。

続いて、広島YMCA総主事 殿納隆義氏が『ハチドリの一としく』を例に、ささやかに見えても行動を起こさなければ何も始まらないことを力強くアピールし、大いに士気を盛り上げました。



広島県被団協
佐久間 邦彦理事長
によるご挨拶



広島YMCA
殿納 隆義総主事の
熱のこもった挨拶



岩城 みさ子さんの
『組合員からの
メッセージ』



行進を終え、労をねぎらう広島県被団協 箕牧 智之副理事長（写真上）と広島県生協連の岡村会長理事



・8月4日(日)～6日(火)

8月4日(日)～6日(火)の3日間、広島県

生協連は日本生協連と共催で「2019ピースアクション in ヒロシマ」を開催しました。

今年は、「ヒロシマの心を次世代のあなたへ」
知って、感じて、動き出そう」をテーマに、7
4年前のきのこ雲の下での出来事、被爆者の想い
を学ぶ場として、また「戦争も核兵器もない平和
な世界」の実現に向けて世代を越えて交流しまし
た。全国の生協で取り組んでいる平和の活動や、
被爆の実相や被爆者の思いを継承する次世代の若
者の取り組みを紹介しました。

4日から始まった分科会を皮切りに、5日午後
からは広島県立総合体育館グリーンアリーナで
「虹のひろば」を開催。全国から78生協7団体、
約1300人が参加しました。

第1部「虹のステージ」のオープニングを飾つ
たのは、広島市立千田小学校合唱隊のパンフルー
トの演奏と合唱。演奏に使われたパンフルートは
原爆に耐えながら、衰弱して昨秋に切り倒された
被爆樹木のカイツカイブキを使って作られたもの。
小学校3年生から6年生までの児童が奏でる優
しいパンフルートの音色が会場で包みこみまし
た。

記念講演は、日本原水爆被害者団体協議会事務
局長の藤森俊希さんに被爆証言と核兵器廃絶に
向けての想いと、これまでの活動について話して
頂きました。

続いては若者からの平和へのメッセージ。

2019
ピースアクション
in ヒロシマ
開催

広島市立基町高等学校が取り組んだのは「次世
代と描く原爆の絵」。被爆者の方に直接お話を伺い
ながら被爆の実相と被爆者の想いを1枚の絵に込
めて平和への想いを表現しました。

広島県立福山工業高等学校は「CG(コンピュー
タグラフィックス)による原爆投下前後の広島」
を紹介。「ヒロシマの現実を、作品を通して多くの
人に伝えたい」と、原爆投下前の広島の様子を、
クオリティの高いCGで再現しました。その再現
性に、会場は歓声と深いため息に。

広島修道大学ひろしま協創高等学校のダンス部
によるダンス「HIROSHIMA」は、原爆の
恐怖と復興へ向けての力強さを、ダイナミックな
動きで表現。演じた後のインタビューでは息が切
れて、しばらく話せないほど。若い力で会場を熱
気に包み込みました。



広島市松井 一實市長と長崎市田上 富久市長が揃って登壇



広島市立千田小学校合唱隊



広島修道大学ひろしま協創高等学校ダンス部



子ども平和会議アピール文表明



安田女子大学書道部による大書パフォーマンス



広島市立基町高等学校



虹のひろば合唱団



被爆ピアノに触れる子ども



うちわづくり

第2部「みんなのひろば」で注目を集めたのは、安田女子大学書道部による「書道ガールズ大書パフォーマンス」。巨大な紙に、短歌が華麗に書き進められていく様子を、多くの人が写真に収めていました。

その他、「平和の折り鶴昇華再生事業折り鶴解体体験コーナー」、基町高校の展示や福山工業高校のVR（バーチャルリアリティ）上映の他、全国の生協や平和関連団体による22の出展ブースに加え、17のコーナーを設置。行政からは、広島県平和推進プロジェクト・チーム、平和首長会議（広島平和文化センター）、広島県障害支援課もコーナーを出展しました。また、今年も「被爆ピアノコーナー」を設け、多くの方々に実際に被爆ピアノに触れていただきました。

第3部「フィナーレ」では、子ども平和会議に参加した子どもたちがステージに登壇。代表して議長団によるアピール文を全国からの参加者に発信しました。インタビュで将来の夢を聞かれると全員「人の役に立ちたい」と回答。平和への想いが次世代に受け継がれていることを感じさせました。

フィナーレでは、広島市松井 一實市長、長崎市田上 富久市長が揃って登壇し、メッセージを送るといふサプライズ！満場の拍手の中、共に「青い空は」を合唱するという画期的な虹のひろばとなりました。

最後に「虹のひろば合唱団」による「にじ」「青い空は」「世界の命は広島への心」の3曲を平和への想いを込めて合唱。フィナーレを飾るに相応しい荘厳で抒情的な歌声で、2019ピースアクション in ヒロシマを締めくくりました。



子どもは
未来です。



2019 ピースアクション in ヒロシマ「虹のひろば」で書いていただきました。



コープハウジングひろしま株式会社
代表取締役

上川 憲治

生協と、替えましょう。

2019年6月、ロゴとスローガンを一新した「コープハウジングひろしま」。
VIに取り組んだ背景と、コープハウジングひろしまが考える
これからの住まいの在り方についてお話を伺いました。

時代や人々が求める 住まいの在り方

少子高齢化や都市部への若者人口の流出など、社会環境が大きく変化し、これまでの暮らし方が変わり始めています。

また多発する自然災害によって、人々に対してより「安全で、安心」であることを求めるようになりました。

こうした人々のニーズや時代の変化にお応えするために、私たちは何をすればいいのか。私たちがするべきことは何なのかを考えました。

そして、その答えが「生協」ということでした。私たちには生協という確かな品質があります。これからの住まいや暮らし方に「生協の品質」をお届けすることが、私たちの使命なのだと考えました。

生協の品質、とは

品質は、決して資材や技術だけではありません。

コープハウジングひろしまの「確かな品質」とは、『人がもたらす心づかい』です。支え合い、助け合う心が、全ての暮らしをより良く替える。より良く生きることに繋がると考えます。生協と共に、生活を一緒にしましょう。この思いを皆さまにお伝えするために、このたびスローガンとロゴを一新しました。

おかげさまで1995年に生協ひろしまの関連子会社として会社を設立以来、延べ3万5千人のお客様からご依頼をうけています。これまでに培ってきた信頼を、これからも確かな品質として、皆様へお届けしていきます。



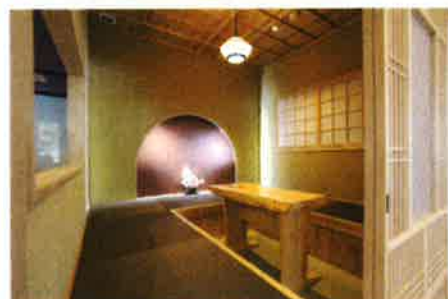
お客様の暮らしに合わせた
住まいの情報をご提供

住まいの情報ステーション
YUTOROGI



人と人とのつながりを
住まいとともに作り上げる

古民家再生ショールーム
CACAWARI



お客様の夢にお応えすることが、私たちの夢です。

二級建築士 福山営業所 所長 藤原 紳持

これからの住まいには安全・安心という品質が必要です。当社のショールームへ一度足をお運びください。きっとご満足いただけるはずです。住まいの夢を叶えるなら、豊富な施工実績とお客様満足度 92%(当社調べ)の当社へご相談ください。



コープハウジングひろしま



生協ひろしま

コープハウジングひろしまのシンボルマークは「ひろしま」の欧文頭文字である「H」で、主たる事業である『家』を表しています。中央の楕円は「コープハウジングひろしまを起点とした暮らしの広がり」をイメージしています。

コープハウジングひろしま株式会社

広島県知事許可(特-27)第27790号 一級建築士事務所
宅地建物取引業者免許証番号 広島県知事(3)第9674号

本社・広島営業所：広島県広島市西区草津東1丁目13-20 TEL: 082-507-9145 / FAX: 082-507-9146

広島東営業所：広島県安芸郡海田町栄町5-34 2F
TEL: 082-821-3722 / FAX: 082-824-5560

福山営業所：広島県福山市駅家町近田1068-3
TEL: 084-970-1147 / FAX: 084-970-1148

住まいの情報ステーション YUTOROGI：
広島県安芸郡海田町栄町5-34 1F
TEL: 082-516-5816 / FAX: 082-516-5817

古民家再生ショールーム CACAWARI：
広島県福山市駅家町近田1068-3
TEL: 084-970-1147 / FAX: 084-970-1148

コープハウジングひろしま

検索

2019年度通常総会開催

とき 6月26日(水)
主 催 広島県生協連

ところ ホテルメルパルク広島

広島県生協連は、6月26日(水)、ホテルメルパルク広島において、2019年度通常総会を開催。全議案とも満場一致で承認された。

最初に主催者挨拶として岡村信秀会長理事より、昨年の西日本豪雨災害支援では、全国の生協や行政と連携し災害対応に取り組んだこと、ヒバクシャ国際署名が50万筆を超えたこと、消費税増税に対する懸念等を述べ、引き続き、「誰もが安心して暮らせる持続可能な地域コミュニティの再生」に向けて取り組む決意を述べた。

続いて、二人の来賓からご挨拶を頂いた。広島県の小川元史県民生活部長からは、「昨年の豪雨災害支援活動では、物心共に生協のご協力に感謝申し上げます。地域に密着した活動をしている生協との連携は不可欠。包括連携協定を基に連携を強め、今後とも県民の安

全・安心なくらしの実現に向けて協力をお願いしたい。」との祝辞をいただいた。次に、J A広島中央会横山英治常務理事からは、「持続可能な社会の構築には協同組合間連携が大切であり、J Aと生協の連携がますます重要になってくる。是非ともご一緒に取り組んで参りたい。」と祝辞をいただいた。

その後、議事に入り4つの議案提案の後、活動方針を深める報告では、介護看護合同事業所の取り組み、西日本豪雨災害支援活動、平和活動、新大学生協の活動について4人の代議員から報告があり、今年度の活動方針に沿って全力で取り組むことを確認した。

採決は、4つの議案すべて満場一致で可決承認された。今年度は役員改選が行われ、3名の理事が退任され、新しく3名の理事が加わった新体制で今年度の活動を推進していく。
(報告：広島県生協連 福島守)



岡村 信秀 会長理事

小川 元史
県民生活部長横山 英治
常務理事

<2019年度役員体制>

代表理事会長	岡村 信秀 / 員外
代表理事専務	高田 公喜 / 員外(常勤)
常務理事	難波 隆宏 / 広島県学校生活協同組合 専務理事
常務理事	盛谷 博文 / 広島中央保健生活協同組合 専務理事
常務理事	横山 弘成 / 生活協同組合ひろしま 専務理事
常務理事	杉田 和正 / 広島県労働者共済生活協同組合 専務理事
常務理事	神野 孝光 / 日立造船因島生活協同組合 理事長
理 事	吉山 功一 / 広島大学消費生活協同組合 専務理事
理 事	金築 英司 / グリーンコープ生活協同組合ひろしま 専務理事
理 事	乃美 康志 / 福山医療生活協同組合 専務理事
理 事	長谷川 英男 / 広島修道大学生協同組合 専務理事
理 事	金尾 央公 / 三共生活協同組合 理事長
理 事	草野 みどり / 生活協同組合ひろしま 理事
理 事	賀築 幸利 / 竹原生活協同組合 理事長
理 事	檀浦 正尚 / 広島県高等学校生活協同組合 専務理事
理 事	片岡 路子 / 広島中央保健生活協同組合 常務理事
理 事	信野 哲三 / 広島医療生活協同組合 専務理事
理 事	岩永 昌子 / 生活協同組合ひろしま 理事
監 事	花田 俊哉 / 広島医療生活協同組合 理事
監 事	塩道 琢也 / 生活協同組合連合会コープ 中国四国事業連合 専務理事

SDGsを基軸に連携、
連帯強化!
第1回トップセミナーとき 6月26日(水)
主 催 広島県生協連

ところ ホテルメルパルク広島

広島県生協連は、6月26日(水)、ホテルメルパルク広島で開催した2019年度通常総会終了後、第1回トップセミナーを会員生協役職員、ワーカーズコープ等関係団体96名が参加して開催した。講師に日本協同組合連携機構(JCA)青竹豊常務理事をお招きし、「SDGsと協同組合間連携」連携した地域づくり」と題して講演を行った。

講演では、SDGsについての基礎知識と、弱体化する地域コミュニティの再生に向けて、協同組合の役割、協同組合間の連携について、先進事例をまじえながら分かりやすく説明があり、参加者からも大変好評で、連携の必要性、連携した地域づくりへの動機付けになった。また、会員生協から、SDGsを通じてビジョン、経営目標、行動計画に関するワークショップ開催の依頼もあり、これからの活動につながるセミナーとなった。

今後とも、協同組合の基本理念のもと、良質で持続可能な地域社会の実現のため、2020県連ビジョンとSDGsを基軸とし、行政やJ A等の協同組合との連携、連帯を強め、安心して暮らし続けられる地域社会づくりに貢献する活動を推進していくことを確認した。

(報告：広島県生協連 福島守)



講師のJCA 青竹 豊常務理事



会場の様子

中四国医療生協組合員活動交流集会 in 広島

432名が学び交流した2日間！

とき 7月16日(火)～17日(水)

ところ グランドプリンスホテル広島

主催 2019年中四国ブロック組合員交流集会実行委員会

中四国医療生協組合員活動交流集会が、広島市の宇品にあるグランドプリンスホテル広島で行われ、中四国にある18の医療生協から432名が学び、交流しました。

1日目の記念講演は広島在住で詩人のアーサービナードさんでした。アメリカで生まれ核兵器の正当論を学び育ったビナードさんが、日本語に導かれて来日され、実際に原爆の落とされた広島の実地に触れる中で、原爆投下の真実につきあたり、被害にあわれた方の立ち位置にしっかりと立つことが大切と話されました。

全体会報告では、広島県民主医療機関連合会での「平和ゼミナール」報告や広島医療生協2年目研修の被爆者からの聞き取り文集「ピカに灼かれてパート2」の報告があり、「若い人の取組みを頼もしく思い、広島だけでなく多くの県で取り組めたら良い」と参加者から感想が出されました。また、昨年7月に発生した西日本豪雨災害で、倉敷医療生協・広島中央保健生協における復興への取組み紹介では、まだまだ助けが必要な人はたくさんおられ、医療生協の役割も大きいと再認識しました。

夕食交流会では、各生協の出し

物で盛り上がりました。2日目は分科会に分かれ各生協の実践交流を行いました。



全体会で「笑いヨガ」でちよつと一息

あつという間の2日間で、広島での開催で改めて平和の尊さを学び交流し、満足度の高い交流会だったと多くの感想が寄せられました。(報告：広島医療生協実行委員会)

県連生協ゼミナール開講！

とき 7月19日(金)

ところ 広島県生協連

主催 広島県生協連

広島県生協連は、会員生協の次世代を担う職員を対象にした、登録制のゼミナールを開講しました。生協で働く多様な職員が、生協の価値と理念に確信を持ち、未来志向で日々の業務に挑戦意欲と働き続けられるように、あらゆるジャンルからゲストスピーカーをお招きし、6回シリーズがスタートしました。

第1回は、7月19日に広島県生協連3階会議室にて、会員生協から30名、オブザーバー10名が参加。講師に広島経済大学メディアビジネス学部学部長北野尚人氏をお招きして、「生協の未来に向けて次世代の職員が担う、近未来予測と行動指針」をテーマに講義がありました。今回の狙いは、「10年後の社会構造はどう変化するのか。デジタル化社会でどう対応するか。社会や市場変化の構造を学び、地域経済の活性化とその予知知見を習得すること」。講義の後、4つのグループに分かれて、「10年後の生協」をテーマに、10年後の「生協」が持つべき3つの「生協らしさ」についてワークセッションを行いました。講義とワークセッションは、北野先生の巧妙で明快な講演とファシリテーションが大好評で、集まった中堅職員は大変な刺激となりました。また、こ

うした学習機会を通じて、各生協の職員同士が1つのテーマでワークができるのも有意義でした。



広島経済大学
メディアビジネス学部
学部長 北野尚人氏

内閣府地方創生推進事務局地域活性化伝道師でもある北野先生曰く、「自分で考える」、「過去の成功事例が通用するとは限らない」、「常識を疑い、柔軟に考える」といった発想の転換がどれだけできるかであるといった行動指針をいただきました。



さまざまな人の意見を聞きながら
新しい発想や視点を学ぶ

次回は、8月23日に「変わっていく暮らしと地域デザイン・生協はどうする？」をテーマに、広島市立大学社会連携センター特任教授国本善平氏と、地域とともに歩む生協の近未来について考えます。(報告：広島県生協連 福島守)

2019市民平和行進各地で開催

とき	6月30日(日)	ところ	東広島市
とき	7月27日(土)	ところ	三次市
とき	7月28日(日)	ところ	尾道市因島
主催	市民平和行進広島県連絡会		

6月30日(日)曇り空の下、東広島市で103名(大人85名、子ども18名)が平和行進を行った。日曜日の開催ということで、組合員さんや職員の家族の参加が多く、元気な声が沿道に響いた。組合員さんが参加者全員に『幸せの赤いリボン』を配布してくださったり、行進の後のお茶などの提供をしてくださるなど、細やかな配慮が有難かった。行進の出発式では、東広島市高垣広徳市長が出席してくださり、メッセージを頂いた。生協と行政が一体となって平和の取り組みを行っていることを実感した。

7月27日(土)、三次市では平和のつどいと島根から平和への思いの引き継ぎ式を151名(大人134名、子ども17名)が参加して行った。三次市中原みどり地域振興部長が出席し市長メッセージを代読し、島根県生協連からは12名が参加した。



東広島市の行進の様子



東広島市 高垣 広徳市長のメッセージ



島根から引き継いだ横断幕(三次)

つどいでは、碑めぐりガイドの会30周年報告や紙芝居があり会場は盛り上がった。

7月28日(日)、日立造船因島生協の組合員と職員77名が「核兵器廃絶しよう」と声を響かせて因島の土生町内を行進した。中には杖をつきながら行進する姿も見られた。

行進の後には平和のつどいが行われ懐かしフオークソングに笑顔が溢れていた。

1979年から始まった市民平和行進は、今年も広島県内各地で行われ、核兵器廃絶と平和への想いを共有した。

地域の声から

生協ひろしまの

移動店舗の誘致が実現!

広島医療生協

2017年9月からふれあいセンター協同の集会所で毎週水曜日の午前中、「いきいき百歳体操」を実施しています。今年の3月に体操に参加されている地域の高齢者や民生委員の方々と「この地域でずっと暮らしていくために必要なもの」について5つのグループに分かれて、話し合いました。当日はふれあい協同の藤代事務長、安佐南区健康長寿課の保健師、安佐南区社協の生活支援コーディネーター、東原・祇園東包括職員も参加し、地域課題の把握に努めました。

「近くにスーパーが無くて、買い物に困っている。」という意見をもとに、関係者で連携して、生協ひろしまの移動店舗が実現しました。移動店舗を利用されている方々から「刺身や寿司、お肉、果物など生鮮食品もあり、助かっている。」「食生活が変わった。」との声を頂いています。これからも、地域の声に耳を傾け、関係機関と連携して、暮らしやすい地域づくりを実現していきたいと思っています。

(広島市東原・祇園東地域包括支援センター 清水 史子)



移動店舗に喜ぶ地元の方々

女子テニス世界大会が広島に！



●今年も「花キュービットオープン」の開催が決定！

国際女子テニス協会（WTA）公認のツアー公式戦である「ジャパンウイメンズオープンテニス 2019」（花キュービットオープン）が、昨年に引き続き、広島広域公園テニスコートを舞台に開催されます。

●国内外トップレベルのプレイヤーが広島に集結！

本大会は、WTA ランキング 30 位～100 位台の選手が出場する「これから世界トップの舞台に飛躍しようとする選手たちの闘いの場」となっています。一昨年の大会には、大坂なおみ選手も出場し、その後、瞬く間に世界ランキング 1 位に上りつめました。

●広島県出身の「二宮 真琴」選手も出場！

本大会には、広島市出身で、女子ナショナルチーム 2020 強化メンバーに選ばれている二宮真琴選手も出場します。2020 東京オリンピックでメダル獲得が期待されている、カーブが大好きな二宮選手を会場で応援しよう！

●そのほか、イベントも目白押し！

伊達公子さんのトークショーや、おいしくて話題のグルメ人気店が集結する「こだわりマルシェ」の開催に加え、大好評「広島カープ × 花キュービットオープンコラボグッズ」の販売など、気軽に楽しめるイベントが多数ありますので、ぜひご家族・ご友人と会場へお越しください！

開催期間：令和元年 9 月 9 日（月）～15 日（日）

会 場：広島広域公園テニスコート

H P：https://www.jta-tennis.or.jp/jwo/tabid/549/Default.aspx



二宮 真琴選手

お問合せ／広島県地域政策局スポーツ推進課 ☎082-513-2641

「消費者トラブルの手口を知りましょう」⑬

近年、振り込め詐欺やインターネットを悪用した詐欺などの被害が後を絶ちません。消費者トラブルは身近なところに存在しています。情報を知り、被害にあうことがないよう、また被害にあったときの対処法について、日頃から備えておきましょう。

<遺品整理サービス 契約内容をよく確認>

(2019 年 2 月 19 日 独立行政法人国民生活センター 見守り新鮮情報第 329 号より)



兄が亡くなったため、スマートフォンで検索して見つけた遺品整理事業者に来てもらい、見積もりを出してもらったことにした。事業者から、「今日決めてもらったら安くなる」、「早く決めれば早く始められる」などと言われたので、その場で約 32 万円の契約をして、手持ちの 2 万 5 千円を支払った。「週明けから準備を始める」と言っていたのに、その後、なかなか作業を始めてくれない。60 代女性

★遺品整理サービスに関する料金や作業内容は事業者により様々です。必ず複数の事業者から見積もりを取り、料金や契約内容を比較しましょう。

★「今なら安くなる」などとせかされても、その場ですぐに契約してはいけません。家族や周囲の人に相談することも大切です。執ように勧誘される場合は、あいまいな断り方をせず、きっぱり断りましょう。

★契約する際には、改めて作業日、作業内容、追加料金やキャンセル料等を含む料金について確認しましょう。

★残しておきたいものまで処分されてしまうケースもあります。残しておくものと処分するものを明確に分けておきましょう。

★困ったときは、お早めにお住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください。 [消費者ホットライン 188]



第 1 回福祉・介護委員会報告

■開催日：5 月 29 日（水）

□主な協議・報告事項

- ・各生協の 2018 年度のまとめと 2019 年度計画の交流
- ・福祉・介護委員会の 2019 年度活動計画について
- ・介護職員等特定処遇改善加算について

第 2 回組織平和委員会報告

■開催日：6 月 5 日（水）

□主な協議・報告事項

- ・2019 ピースアクション in ヒロシマについて
- ・2019 市民平和行進について
- ・ヒバクシャ国際署名ウィークス取組報告
- ・2019 戦争も核兵器もない平和な世界を
市民の集い開催報告
- ・2020 年度広島県への要請について
- ・けんこうチャレンジ 2019 について

第 2 回理事会報告

■開催日：7 月 12 日（金）■出席 理事：18 名中 16 名出席

□決議事項

- ・会員生協会費について ・他団体の公職承認について
- ・他団体への協賛について
- ・2019 年度専門員制度（コープ・アドバイザー）の選任について
- ・2020 年 N P T 再検討会議被爆者活動支援募金への
拠出について

□協議事項

- ・2020 年度広島県への要請について
- ・第 47 回広島県生協大会の開催について

□報告事項

- ・非常勤役員退任慰労金の支給について
- ・2019 県連生協ゼミナール受講申込状況について
- ・2019 年度通常総会開催報告
- ・2019 年度第 1 回トップセミナー開催報告
- ・2019 ピースアクション in ヒロシマについて
- ・2019 市民平和行進の日程と集結コースについて
- ・第 35 回中四国生協・行政合同会議について

言葉の贈り物

人と人、地域と地域を結ぶために。あの人が綴る明日へのメッセージ



被爆ピアノ管理・所有者

やがわ みつのり

矢川 光則

PROFILE

1952年に広島に生まれ、18才で上京した後、大手ピアノメーカー等の勤務を経て、1993年に生まれ育った広島の地で、ヤガワ楽器調律センターを開業。
また、1995年にピアノ工房の建設を機に古いピアノの再生を行い福祉施設等への寄与をする奉仕活動を始めた。
奉仕活動を重ねる中「被爆（ひろしま原爆）ピアノ」と出会い、2001年より平和記念公園でコンサートを始め、現在は全国で「被爆（ひろしま原爆）ピアノ、平和コンサート」を行っている。

被爆ピアノと私

被爆ピアノが繋ぐ 平和への想い

広島のパiano調律師として約22年前、原爆で被爆したガラス破片等で傷ついたピアノを被爆者より託されました。広島のパiano被爆品でもありますので、修復は必要最低限の補修だけに努めました。

音楽には国境がなく、被爆したピアノの音色を多くの人に聴いてもらえることで平和を伝えたいという想いから、自ら運転するトラックにピアノを載せ、コンサートを続けるうちに支援してくれる仲間や、平和への想いが年を追うごとに広がっていきました。

コンサートでも知り合った人々から何度となく告げられた言葉に、「日本は世界で唯一の原爆を落とされた国であり、原爆の被害を知る証人として、全世界に核兵器廃絶を訴える資格と条件が整っている。」と言われたことが印象に残っています。

核兵器廃絶に向けての想い

原爆投下から既に74年が経過しましたが、核兵器廃絶の道はおろか、世界へ核が拡散しているのが現状です。被爆者も高齢化しており、限られた時間内になんとしても核兵器廃絶の道筋を取り付けたい。被爆2世の世代で確固たる平和構築への礎を築き、被爆3世の世代へはこの暗く重い課題を引き継がせないためにも、3年以内に解決の糸口を見つけ出したいのです。

被爆2世としての使命

最後に、日本政府も唯一の被爆国として、世界へ核兵器廃絶の願いをもっと強くアピールして頂きたいと思います。その為には、広島、長崎の被爆者のみならず、世界中の人類が協力して原爆や戦争

で苦しんだり悲しんだりすることのないよう、平和な世の中に負の遺産や連鎖だけは次の世代に引き継がせないようにしなければなりません。私も広島で被爆2世として生まれ、被爆ピアノと歩むものとして、これからもその使命を果たしていきたいと考えています。

略歴

1972年 河合楽器ピアノ調律技術者養成所卒業
1972年 河合楽器製作所入社
1981年 広島市内の楽器店に調律師として勤務
1993年 ヤガワ楽器調律センター開業
1995年 ピアノ工房建設
2003年 広島市民表彰（市民賞）受賞
2010年 著書「海をわたる被爆ピアノ」講談社 刊行
2012年 国際文化交流奨励賞受賞
2015年 県民文化奨励賞受賞



演奏 ピアニスト 向井理佐美さん

広島県生活協同組合連合会

〒730-0802 広島市中区本川町 2-6-11 第7ウエノヤビル 5F

TEL:082-532-1300 FAX:082-232-8100

e-mail:kenren.h@proof.ocn.ne.jp URL:http://hiroshima.kenren-coop.jp

編集後記

毎年夏になると、各地で平和の取り組みが行われます。74年前の出来事を語り継ぐと、若者も自分たちの表現で継承の取り組みをしています。この世から核兵器をなくし真の平和な社会を実現するために、私たちは今後も平和の取り組みを続けていきます。(山下)